

平成 30 年 5 月 11 日

各 位



会 社 名 株 式 会 社 大 田 花 き  
代 表 者 代 表 執 行 役 社 長 磯 村 信 夫  
( J A S D A Q コード番号 7 5 5 5 )  
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 管 理 本 部 長 金 子 和 彦  
T E L 0 3 - 3 7 9 9 - 5 5 7 1

## 通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 11 月 10 日に公表しました平成 30 年 3 月期の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

|                              | 売上高    | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1 株当たり当<br>期純利益 |
|------------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|-----------------|
|                              | 百万円    | 百万円   | 百万円   | 百万円                     | 円 銭             |
| 前回発表予想 (A)                   | 27,073 | 130   | 160   | 115                     | 22.62           |
| 実績値 (B)                      | 25,375 | 80    | 118   | 77                      | 15.32           |
| 増減額 (B-A)                    | △1,697 | △49   | △41   | △37                     |                 |
| 増減率 (%)                      | △6.3   | △38.0 | △26.1 | △32.3                   |                 |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 29 年 3 月期) | 26,995 | 16    | 62    | 30                      | 6.05            |

#### 2. 修正の理由

前回発表予想時点では、足元での回復基調から前年を超えた展開となり前回発表予想を達成する見込みでした。しかしながら、11 月以降 (特に 12 月と 3 月)、値ごろ感のある等級品の集荷不足や白菊等の単価安、さらには 3 月の記録的な高温など天候要因も重なり、洋花を中心に需要を取り込むなど方策を探るも、需要のタイミングを逃し売上高は予想を大幅に下回りました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、物流の効率化・省力化を推進しコスト削減を実現するも、前回発表予想を下回りました。

以 上